

# 4. 開発した技術と取組んでいる技術

## 水稲直播栽培

### 出芽生育促進技術

種子粉を加温することで稲の生育が促進され、出穂が2日程度早まります。

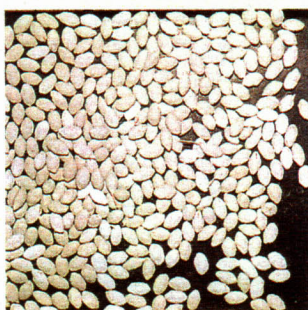
〈効果〉

1. コシヒカリの直播栽培が可能になります。
2. 4月中旬に播種できるため、園芸農家に取り組む直播栽培として有効です。
3. 中山間地で安定した直播栽培が可能になります。

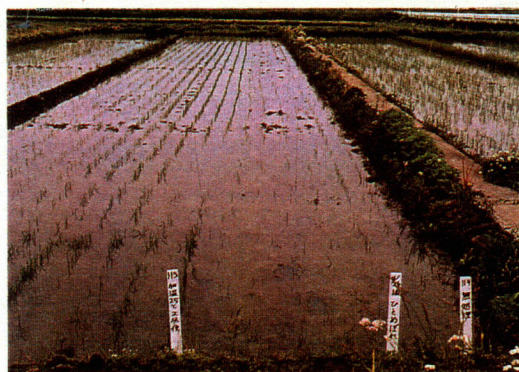
浸種 → 催芽 → カルパー粉衣 → 加温処理 → 陰干し → 播種

加温処理手順

の状態  
加温処理後の粉衣種子



カルパー粉衣種子を25℃に設定した育苗器で2昼夜加温した時の状態です。芽や根の伸長により、粉衣種子の胚の部分に亀裂が生じています。



播種後の生育状況

中央のラベルから左側が加温処理をした種子、右側が慣行の種子を直播した圃場の稲の生育状況です。種子の加温処理をした稲の生育が進んでいます。

### 代かき作溝表面散播

代かき作溝表面散播法とは、代かき後のほ場にW型の溝を付け、その溝の表面に散播する方法です。本播種法のねらいは、土の表面に播種することで苗立ちを向上させ、その溝が苗立ち以降の湛水管理で徐々に埋ることを利用し倒伏防止を図ることにあります。



W型の溝を付ける作業



ラジコンヘリコプターによる播種作業